

安全データシート

作成:1998年11月 9日

改訂:2022年 3月 1日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KX002-10
製品名 : ネオエステルリン
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : 生産部 SQE推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3827-0825
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	引火性液体	: 区分3
	自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
	自然発火性液体	: 区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分に該当しない
	皮膚感作性	: 区分に該当しない
	生殖毒性	: 区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分1(中枢神経系、腎臓、全身毒性)、区分3(麻酔作用、気道刺激性)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分2(血管、心臓、脾臓)、区分3(気道刺激性)
	誤えん有害性	: 区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分2
	水生環境有害性(慢性)	: 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・可燃性液体
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・臓器(中枢神経系、腎臓、全身毒性)の障害
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・長期または反復暴露による臓器(血管、心臓、脾臓)の障害のおそれ
- ・飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

【予防策】

- ・使用前に取扱い説明書を入し、安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・屋外または換気の良い場所で使用すること。
- ・熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること。禁煙。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【対応】

- ・火災の場合：消化するために適切な消火剤(5. 火災時の処置参照)を使用すること。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル

ポリオキシエチレン樹脂酸エステル

ポリオキシエチレン脂肪酸エステル

成分及び含有量：	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	20.0%
<その他>	ポリオキシエチレン樹脂酸エステル	10.0%
	ポリオキシエチレン脂肪酸エステル	
	イソプロピルアルコール	15.0%
	イソブチルアルコール	2.0%
	水 等	53.0%

化学式： $(C_2H_4O)_n \cdot C_{15}H_{24}O$ / ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル
 $(CH_3)_2CH_2O$ / イソプロピルアルコール
 $C_4H_{10}O$ / イソブチルアルコール

官報公示整理番号：	化審法	(7)-172	ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル
		(7)-88	ポリオキシエチレン樹脂酸エステル
		(8)-29	ポリオキシエチレン脂肪酸エステル
		(2)-207	イソプロピルアルコール
		(2)-3049	イソブチルアルコール

CAS No.:	9016-45-9	/ ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル
	68154-29-0	/ ポリオキシエチレン樹脂酸エステル
	8050-33-7	/ ポリオキシエチレン脂肪酸エステル
	67-63-0	/ イソプロピルアルコール
	78-83-1	/ イソブチルアルコール

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、

石鹼を使って洗浄する。この製品は揮発性なので、蒸気を吸入しないよう注意する。

この製品は引火性なので、火気に注意して措置する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

製剤に含まれている有機溶剤による中毒も考慮する。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

消火剤：霧状の強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末(りん酸塩類、炭酸水素塩類)を放射する消火器、乾燥砂、膨張する石又は膨張真珠岩

使ってはならない消火剤：水

消火活動上の注意：水を消火に用いてはならない。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：作業の際には保護具(暴露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境影響に対する注意：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

流出物の処理に対する注意：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合には、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取り扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。使用後の空容器は、一定の場所を定めて集積し、廃棄上の注意に従い処分する。

火災・爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

保管上の注意：通風をよくし、蒸気を滞留しないようにする。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。多量の危険物の貯蔵は法令による所定の貯蔵庫に類別して貯蔵する。

8. 暴露防止措置

管理濃度：イソプロピルアルコール 200ppm(作業環境評価基準)

イソブチルアルコール 50ppm(作業環境評価基準)

許容濃度：イソプロピルアルコール 最大400ppm(最大980mg/m³)日本産業衛生学会勧告値(2009年)

イソプロピルアルコール TLV-TWA 200ppm ACGIH(2009年)

イソブチルアルコール 50ppm(150mg/m³)日本産業衛生学会勧告値(2009年)

イソブチルアルコール TLV-TWA 50ppm ACGIH(2009年)

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具：防毒マスク(有機ガス用)

保護手袋：ゴム手袋、耐溶剤用手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣：作業着、帽子、保護服(不浸透性)

9. 物理・化学的性質

外観等 : 淡黄色透明可乳化油状液体

臭い : データなし

pH (100倍希釈液) : 6.1(参考値)

融点・凝固点 : データなし

沸点・初留点及び沸騰範囲 : データなし

引火点 : 30°C

自然発火点 : データなし

燃焼性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 0.97(参考値)
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀ 5000 mg/kg 以上 マウス(♂ ♀) LD ₅₀ 5000 mg/kg 以上
急性毒性(経皮)	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀ 2000 mg/kg 以上
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし
急性毒性(吸入:ミスト)	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: ウサギ 軽度の刺激性(虹彩の炎症、結膜の発赤)あり、 48時間後には回復。
呼吸感受性	: データなし
皮膚感受性	: モルモット 感受性なし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: 含有するイソプロピルアルコールが区分2に分類されていることから 区分2とした。
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	: イソプロピルアルコールとして、区分1(中枢神経系、腎臓、全身毒性)、 区分3(気道刺激性) イソブタノールとして、区分3(麻酔作用)
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	: イソブタノールとして、区分3(気道刺激性) イソプロピルアルコールとして、区分2(血管、心臓、脾臓)
誤えん有害性	: 含有するイソブタノール及びイソプロピルアルコールがそれぞれ区分2に 分類されていることから区分2とした。

12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀ 8.9 mg/l (96時間)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀ 23 mg/l (48時間)
藻類	: ErC ₅₀ 20 mg/l (72時間)
残留性／分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他	: 通常の使用方法で問題無い。

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により

清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。消防法の定めに従う。

国連分類 : クラス3(引火性液体)容器等級Ⅲ
国連番号 : 1993
国内規制
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
陸上規制情報 : 消防法、道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第2122号
消防法 : 第4類 第2石油類(水溶性液体) 登録番号4042-093578
労働安全衛生法 : 有機溶剤中毒防止規則第1条 第2種有機溶剤
: 第18条の2(通知対象物質): イソプロピルアルコール(政令番号492)
: 第18条の2(通知対象物質): イソブチルアルコール(政令番号477)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第一種指定物質 410号 ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル
毒物劇物取締法 : 非該当
船舶による危険物の運搬基準等を定める告示(引火性液体類 高引火点引火性液体)

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第18版 2020年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件2,000円)は弊社が負担いたします。